

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

TEC-FORCE(Technical Emergency Control Force)は、中国地方整備局において平成20年6月6日発足した緊急災害対策派遣隊です。

地震、水害、土砂災害等の大規模災害発生時に、地方公共団体等が行う被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を目的として、国としての円滑で迅速な活動の確保等のために設置しています。

TEC-FORCEの活動

TEC-FORCEは、

- ①情報連絡員や災害対策ヘリコプターの派遣等を通して被災状況の迅速な把握に努め、
- ②排水ポンプ車や照明車等の国が保有する災害対策用資機材等を派遣して被災地の早期復旧や被害の拡大防止を図り、
- ③自治体による災害応急対策に対する技術的指導を行っています。



現地支援センター設置



被災状況調査



災害対策ヘリコプター



応急組立橋梁



照明車



高度技術指導

これまでの実績

TEC-FORCEは、中国地整管内では、次のような災害においても実績を上げています。

■平成21年7月中国九州北部豪雨災害(山口県防府市他)

40日間 延べ1,061名。照明車、排水ポンプ車、応急組立橋梁

■平成21年台風9号(岡山県美作市)

2日 2名 照明車、ポンプ車

■平成22年7月16日庄原市豪雨災害(広島県庄原市)

10日間 延べ69名、待機支援車(三次河川事務所からは2名派遣)



庄原豪雨災害での活動
(土砂流出の危険性調査)
7月18日～19日 大戸川・大津恵川

リエゾン(現地情報連絡員)の派遣

リエゾン(Liaison)とは、「つなぐ」という意味のフランス語です。

災害発生時に被災した自治体の被災状況等の情報収集・伝達や国による支援体制(災害対策機械の派遣等)の調整といった災害対策支援を迅速かつ的確に行うために、国土交通省職員を派遣するものです。

平成22年7月の豪雨災害では、三次市・庄原市・安芸高田市へ三次河川国道事務所から5名が派遣され、迅速な情報収集・伝達を通して減災・早期災害対応に貢献しました。